

英語を勉強するということ

皆さんは「英語の勉強」とはどうすることとおられるでしょうか。

「新しい単語を覚えたり、文法事項を理解したりして、英文を日本語訳すること」と答える方が多いのではないかと思います。もちろんそれは英語の勉強の手順として必要なことであり、それをいいかげんにしては実力などつきません。

しかし、おうおうにしてテストに向けて教科書の本文とその訳をひたすら暗記することだけを「英語の勉強」ととらえている塾生も少なくありません。

授業をされていて感じるのですが、訳した日本語の意味が実はわかっていないケースがよくあります。これはもはや英語というより、国語の読解力の領域になります。今の教科書は会話重視であるため、対話文が多くでてきます。しかし情景をイメージできないために、その対話の裏にある登場人物の心情変化などを、なかなかつかめないことがあるようです。もちろん説明文の場合も、論理的に理解していないために指示語が何をさしているのかもわからなくなることもあります。これらは長文の単元 (Let's Read など) や模試などの初めて見る英文でその力の差が明らかに出てきます。英語も最終的には国語の力で決まるというのはこうしたわけです。

英 文： I am a teacher at your school now.



訳語調： 私は、今あなたの学校で先生です。



意 訳： 私は、今あなたの学校の先生をやっています。

本文の訳などは教科書ガイドの訳をさっさと教える塾もあります。そうしたときの訳はほとんどが最終的な意識しか教えません。それで教科書以外の文が読めるとは思いません。

当塾で英文を訳すときは、基本的に上のような2段階の手順を踏ませます。まず主語・動詞を中心とした単語に忠実な訳をさせます。この訳は少しぎこちない日本語になりますが、あえてそうすることで文法事項の理解を助け、他の文への応用力を育みます。次にそのぎこちない訳語調の日本語を、自然な日本語(意識)に変えてもらいます。この過程で日本語の語彙力や言い換え力やイメージ力が必要となります。塾では平常授業として英数しか教えていないのですが、実は国語の指導に一番力を入れている気がします。